

CASE

アルバイト先の男性が性的な発言を
したり体に触ったりする。

09 苦痛なのでやめてほしいが
自分では言えない。

トラブルの事例

コンビニエンスストアでアルバイトをしているのですが、同じ時間帯に働いている男性がいろいろと性的なことを話したり聞いてきたりします。また、ときどき肩や髪に触ったり食事に誘われたりします。とても苦痛なのでやめてほしいのですが、職場の雰囲気を見るとあまり強くは言えません。アルバイトはできれば続けたいのですが、なにかよい方法はありませんか。(女子学生2年)

解決策

何らかの組織内でセクシャルハラスメント(セクハラ)の被害を受けている場合は、責任者(責任者が当事者の場合はその上司)に指導を求めるのが原則です。この事例でも学生相談室からコンビニの責任者に電話をかけて事情を説明し、当事者の男性に強く注意した上で同じ時間帯の勤務を外してもらいました。その後、本人は問題なく仕事を続けています。

大学の教職員や同級生、サークルの仲間などからのセクハラ、いじめなどは「アカデミックハラスメント(アカハラ)」ともいわれ、近年は増加傾向にあります。そのような被害を受けた場合は、学生相談室などで対策を講じます。状況が改善されない場合は告訴も辞さないなど、強い態度で臨むことが大切です。

POINT—●ここがポイント

被害者には絶対にかまみさせず、詳しい状況を話させる。その際「あなたにもスキがあるのでは」などと言うのは禁物。全面的に話を聞いた上で行為者との面談などを行い、事実関係を正確に把握する。本人にセクハラを意識がなくても、被害者がそのように感じればその時点でセクハラになることを行為者に伝え、可能な限り行為を改めさせる。